

平成29年度

# 一般会計決算の概要をお知らせします

芦屋市 決算

検索

問い合わせ 財政課 ☎38-2011



## 一般会計

平成29年度の一般会計の決算規模は、特別会計への繰出金や山手中学校の建て替え事業などにより増加しました。

歳入歳出の差引額から翌年度への繰越財源を除いた平成29年度の実質的な黒字額は、3億5,706万2千円となりました。

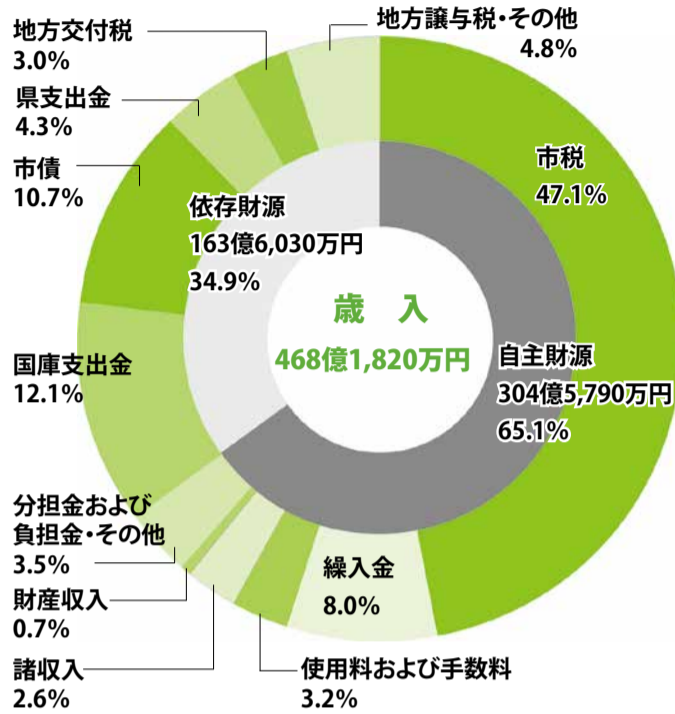
①歳入総額 (1年間の収入の総額)	468億1,820万2千円
②歳出総額 (1年間の支出の総額)	460億1,967万9千円
③歳入歳出差引 (収入から支出を引いた額・①-②)	7億9,852万3千円
④繰越財源 (平成30年度に繰り越す事業に充てる額)	4億4,146万1千円
⑤実質収支 (実質的な黒字額・③-④)	3億5,706万2千円

## 歳入

468億1,820万2千円

前年度に比べ

15億2,218万3千円(3.4%)の増加に



## 市税収入とふるさと寄附金

市税は、歳入全体の約半分(47.1%)、220億3,772万4千円となっています。

また、芦屋市にいただいたふるさと寄附金は、1,571件、約7,236万円(前年度：1,166件、約1億3,721万円)となっており、旧山邑家住宅保存修理事業や大学等進学のための経済的支援などに活用しました。

一方、市民の皆さんが他の自治体等に行ったふるさと寄附による寄附金税額控除により、市民税が約3億7,150万円(前年度：約2億1,480万円)の減収となっています。



## 29年度 主な事業

「安全・安心で良好な住宅地としての魅力を高めるまちづくり」「若い世代の子育ての希望をかなえるまちづくり」に必要な予算を編成し執行しました。

### 教育費

▶山手中学校の建て替え事業



完成図(パース)



### 総務費

▶PR動画の作成などシティプロモーション事業



▶Ashiya Free Wi-Fiの整備

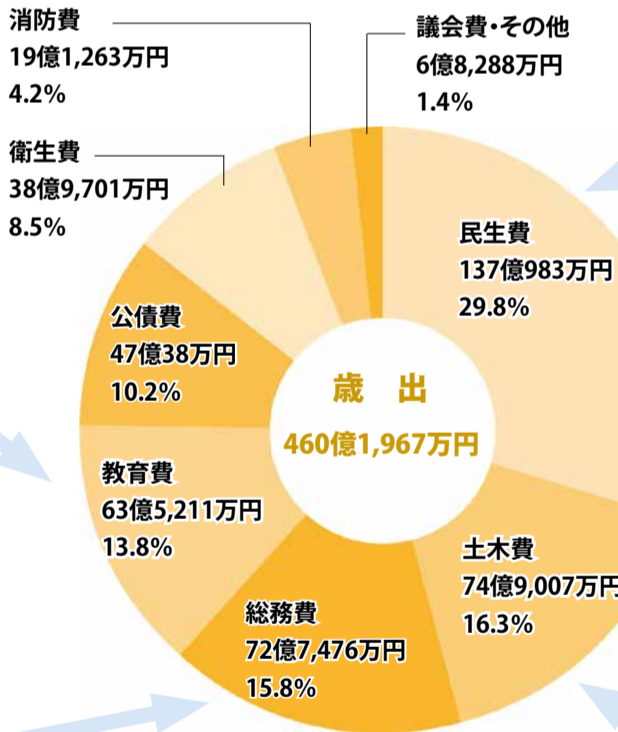


## 歳出

460億1,967万9千円

前年度に比べ

17億9,732万5千円(4.1%)の増加に



### 民生費

▶認定こども園の誘致



浜風あすのこども園 しおさいこども園

### 土木費

▶さくら参道の無電柱化  
▶市営住宅等大規模集約事業



高浜町住宅

## 市債残高

阪神・淡路大震災で急増した一般会計の市債残高(借金)は、ピーク時(平成13年度末)の1,119億円から、平成27年度末の475億円まで残高を縮減してきましたが、公共施設の老朽化対策や人口減少対策のための新たな投資的事業が必要となっており、平成29年度末残高は、498億円(うち震災関連分は155億円(31.1%))となりました。

## 健全化判断比率

健全化判断比率は、地方公共団体の財政状況を客観的に表し、財政の健全状況を判断する指標です。  
平成29年度は、満期を迎えた一括償還により借入金の返済負担(実質公債費比率)は前年度比増加しました。借入額全体(将来負担比率)は減少していますが、引き続き慎重な財政運営が必要です。  
※資金不足を生じている公営企業会計はありませんでした。

健全化判断比率	説明	28年度	29年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の程度を示す指標	—	—	12.23%	20.00%
連結実質赤字比率	芦屋市全会計の赤字の程度を示す指標	—	—	17.23%	30.00%
実質公債費比率	一般会計等の借入金の返済額の程度を示す指標	3.4%	8.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	一般会計等の抱える市債残高など将来負担額の程度を示す指標	96.0%	90.4%	350.0%	

財政健全化法に定められている4つの財政指標は、いずれも「早期健全化基準」を下回っています。